## 第3章 実践報告

## 1 特別支援教育に役立つ教材・教具

## <小学部の教材・教具>

生活

教科・領域	生活(小学部2段階、小学部3段階)
名称	朝顔の成長に関するクイズ
写真 使用方法	<ul> <li>朝顔に関するクイズを『Keynote』で作成した。</li> <li>クイズを始める前に、成長段階の写真をつなげた動画を 『iMovie』で作成、連続して見えるようにし、植物が育って いく様子をイメージできるようにした。</li> <li>●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li></ul>
対象児童生徒	小学部C低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	朝顔の育成物品、iPad
使ってみて (効果・反省等)	クイズは朝顔を植える前の学習として行った。 出てくる芽がイメージできたことで、朝顔の芽を「葉っぱの赤ち ゃん」と呼び、種まきの直後から楽しみにしている児童がいた。 今後同様の学習を行う際には、継続して観察した後に、再度クイ ズを行うようにし、育てた草花の知識の定着を図りたい。



教科・領域	国語(小学部2段階、小学部3段階)
名称	絵本を読んでクイズに答えよう(絵本『たんじょうびのごちそう』)
写真 使用方法	<ul> <li>         がんの ひ ですか?         <ul> <li></li></ul></li></ul>
対象児童生徒	小学部C高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	iPad アプリ『Keynote』 絵本『たんじょうびのごちそう』 クイズにしたいページを撮影して『Keynote』に貼りつけ、ヒン トになるような絵や文字は隠す。児童の反応を見て対応するた め、アニメーション機能を利用し、文字やヒントのイラストが出 てくるようにしたり、イラストを見て答えた後、答え合わせのO や×が出てきたりするようにする。
使ってみて (効果・反省等)	児童の理解度が異なるため、それぞれの児童が自分の力で考えて 答えることができるよう、ヒントの出し方を複数用意したこと で、言葉で答えたり、イラストから選んだりできた。







教科・領域	国語(小学部2段階、小学部3段階)
名称	せんたくあそび
写真 使用方法	<ul> <li>① 洗濯に関する動詞を確認しながら導入の絵本を読む</li> <li>② 動詞が書かれたひらがなの札とイラストをマッチングしながら順に並べられるようにする。</li> <li>③ 実際にその動作を体験する。その際にタブレット端末に押すと音の出るアプリ</li> <li>『DropTap』を使用し、正しい動詞を押してから活動する。「あらう」を押すとジャブジャブと洗う音が流れる。児童の実態に合わせてイラスト入りか文字のみかを使い分ける。</li> <li>ジェージングレット端ですのはですのはですのはですのはですのはですののはすいのはすいのはすいのはすいのはですのはないのはすいのはすいのはすいのはすいのはすいのはすいのはすいのはすいのはすいのはす</li></ul>
対象児童生徒	小学部C高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	<ul> <li>動詞とイラストの札を児童人数分作成する。(ラミネートして裏に 磁石を貼っておくとホワイトボードに貼れるので使用しやすい)</li> <li>iPadのアプリに入れる音を録音し、動詞とイラストの枠を作成し てアプリに登録する。</li> <li>動作をイメージしやすいよう小道具を準備しておく。(ビニールプ ール、洗濯板、うちわ等)</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>ひらがな、身近なイメージしやすい動詞を用い、実際の活動を組み合わせることで、児童が楽しみながら不安なく活動に取り組むことができた。</li> <li>実際に水を使用して洗濯の活動をするという方法もあったが、児童の実態や国語のひらがな学習であることを踏まえ、iPadを使用して効果音を流すという方法にした。iPadへの興味関心が高い児童が多く、意欲的に取組むことができた。効果音の途中と最後に指導者の声を入れることで、メリハリを持たせることができた。</li> </ul>



教科・領域	かず・ことば(小学部2段階)
名称	ひらがな よみプリント ①
写真 使用方法	
対象児童生徒	小学部C低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	パソコンにて作成する。児童が興味関心を持つことばを選び、イラス トもわかりやすいように配慮する。
使ってみて (効果・反省等)	この種類のプリントを一文字につき5から10枚程度作成し、毎日の宿 題にも活用することで、ひらがなの読みの定着を図った。児童が読み やすくなることを目的として文字を大きく設定したが、1枚をやり終 える時間が短くなり、何枚も準備する必要があった。



教科・領域	かず・ことば(小学部2段階)
名称	ひらがな よみプリント ②
写真 使用方法	一部のひらがなを読めるようになりつつあるものの、筆圧が弱いなどの理由により正しく書けない場合に、ひらがなの読みを定着させるためのプリント。
対象児童生徒	小学部C低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	パソコンにて作成する。児童が興味関心を持つことばを選び、イラス トもわかりやすいように配慮する。
使ってみて (効果・反省等)	この種類のプリントを一文字につき5から10枚程度作成し、毎日の宿 題にも活用することで、ひらがなの読みの定着を図った。児童が読み やすくなることを目的として文字を大きく設定したが、1枚をやり終 える時間が短くなり、何枚も準備する必要があった。まだ学習してい ないひらがなについてはシールで貼るよう工夫した。



教科・領域	かず・ことば
名称	線をなぞる
写真 使用方法	
対象児童生徒	小学部C低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	運筆の練習。第1段階として、短い直線をなぞる。次に、短い曲 線を取り入れ、円に進めた。数字やひらがなに移行できるように、 いろんな曲線やジグザグの線の練習プリントを作成した。
使ってみて (効果・反省等)	毎日1枚はなぞりのプリントを行った。このプリントでも、繰り 返すことにより成果が見られ、点線からはみ出ることが少なくな り、よく見て、丁寧に線を書けるようになった。



教科・領域	かず・ことば
名称	線をなぞる
写真 使用方法	
対象児童生徒	小学部C低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	1 画のひらがな(つ・し・く)の練習のプリント。なぞりプリン トがしっかりできるようになってから、少しずつひらがなを練習 するように作成した。挿絵を入れることで語彙を増やすねらいも ある。
使ってみて (効果・反省等)	マスの大きさもちょうどよく、丁寧に書けるようになってきた。 1文字ずつ発音しながら書くことができた。



教科・領域	みる・きく・つたえる(小学部1段階)
名称	数字の型はめパズル
写真 使用方法	
	ねらい 数字への興味、数字と言葉の一致、手指の運動機能の向上、形 の認識・弁別
	<ol> <li>1 興味関心が持てるよう、数字の歌を用いて行う。</li> <li>2 「いち」という言葉と「1」の形が一致することをねらいとして、1つずつ数字を見せながら確認する。</li> <li>3 数字を渡して、型にはめるように促す。</li> </ol>
	はじめは1つからはじめ、増やしていくことで形の弁別もねらい とする。
対象児童生徒	小学部AB高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	<ol> <li>① 数字の歌のイラストを印刷する。</li> <li>② スチレンボードに貼る。</li> <li>③ 数字をくり抜く。</li> <li>④ 持ち手を付ける。</li> </ol>
	※今回は汚れ防止のため、表面にテープを貼った。
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>歌を用いて行うことで、関心を持って取り組む様子がみられた。</li> <li>日常生活場面で、数字を見て「いち」「に」と言うなど、数字への興味関心が高まった様子が見られた。</li> <li>使用する児童の実態に合わせて、操作しやすいよう改善する必要がある。</li> </ul>



\_

教科・領域	みる・きく・つたえる(国語、算数: 小学部第1段階)
名称	『ねずみくんはカメラマン』
写真 使用方法	<ol> <li>電子絵本『ねずみくんはカメラマン』</li> <li>iPad で友だちと写真を撮り合おう</li> </ol>
対象児童生徒	小学部AB高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	<ol> <li>iPad、アプリ『CamScanner』『Keynote』</li> <li>iPad(設定→アクセシビリティ→スイッチコントロール→レ シピ→新規レシピを作成→名前(入力)→スイッチを割り当 てる→フルスクリーン→カスタムジェスチャ→カメラアプ リのシャッターボタンの位置をタップ→保存→新しいレシ ピ(戻る)→レシピ(戻る)→レシピを起動→シャッタ(チ ェックマーク)→ホームボタン→カメラアプリ(立ち上げる) →ホームボタンを3回早押し→スイッチコントロール→フ ルスクリーンで写真が撮れる!</li> </ol>
使ってみて (効果・反省等)	<ol> <li>絵本よりも大きく提示できるので、注目しやすい児童がいた。一方、画面と一定の距離があるため、目の前に提示することが望ましい児童では、顔を上げ続けるのが難しい時があった。</li> <li>児童は、これまでの学校生活で iPad に馴染みがあり、iPadを目の前に提示すると手を伸ばして触ろうとすることが多い。画面に映っている友だちを触ったら写真が撮れるので、積極的に撮り合うことができた。視覚障がいがある児童には、iPadのある位置を示し、手を動かすことによりカメラアプリの音が聞こえるように工夫した。</li> </ol>



\_

教科・領域	みる・きく・つたえる(国語、算数: 小学部第1段階)
名称	『ネコのピート クリスマスをとどけよう』
写真 使用方法	iPad アプリ『DropTap』 絵本『ねこのピート クリスマスをとどけよう』(ペープサートで 提示)に合った効果音や歌、録音した指導者の声を入力しておき、 必要な場面でタップする。
対象児童生徒	小学部AB高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	アプリ内に、必要な音声を入力する。 効果音については、効果音アプリなどを活用し、アプリのアイコ ンに直接録音した。 歌や指導者の声はボイスメモに録音したものを挿入したり、アプ リのアイコンに直接録音したりもできる。
使ってみて (効果・反省等)	ペープサートを動かしたり提示したりするだけよりも、場面に適 した効果音や歌が流れることで児童の意識がペープサートに向 いた。場面をイメージすることができやすい児童もいたと考え る。 スマートフォンで音声を出してアプリに録音すると、少しこもる ような音があった。録音状況によって音量が異なったので、同じ ボリュームで再生すると、少し聞き取りにくい音ができてしまっ た。声が特にこもってしまったので、はっきり発音して取り直し てもよかった。



教科・領域	みる・きく・つたえる(国語、算数: 小学部第1段階)
名称	『ぞうくんのおおかぜさんぽ』をテーマにした教材
写真 使用方法	<image/>
対象児童生徒	小学部AB高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	カラービニールを透明テープでつなげて大きな袋を作る。 袋に穴をあけて鼻をつける。 耳はカラービニールでつけ、画用紙で目をつける。
使ってみて (効果・反省等)	ぞうの鼻が児童の手が届く位置まで膨らむので、児童が興味を持ちやすく、たくさん触る様子が見られた。 また、風が苦手な児童もいたが、ぞうくん人形の活動では風が直 接身体に当たらないため、抵抗感をそれほど感じることなく取り 組むことができた。



教科・領域	みる・きく・つたえる(国語、算数: 小学部第1段階)
名称	金魚の数唱時に使用する視覚補助教材
写真 使用方法	
	iPad アプリの『Keynote』に金魚の画像を入れておき、金魚の数 を数唱する際、テレビに接続した。数唱時に具体物の金魚をかご に落としていくとともに、タブレット端末画面に触れ、白画面か ら1匹ずつ金魚が出てくるよう操作することで、視覚からも金魚 の数がわかりやすいようにした。
対象児童生徒	小学部AB高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	iPad アプリの『Keynote』 『Keynote』の中で金魚の数1匹から10匹のシートを作成した。 iPad の画面に触れた時に、1匹ずつ表示されるよう作成した。 その iPad を大型モニターにつなぎ大きく表示できるようにし た。
使ってみて (効果・反省等)	具体物の金魚が小さく、数唱時にかごに入れても注目するのが難 しい児童がいた。『Keynote』で作成した金魚は画面いっぱいに大 きく映るように作成したので、数唱と同時に金魚が増える様子 を、顔をあげ注目する児童が増えた。聴覚だけでなく視覚的な支 援を加えることで授業に集中できる児童が増えた。



教科・領域	みる・きく・つたえる
名称	型はめパズルお弁当を作ろう!
写真 使用方法	①       ②         ③       ④         ③       ④         ④       ●         ●       ● <t< th=""></t<>
対象児童生徒	実物に近いものを、穴の形や色を参考にマッチングする段階にあ る児童を想定
素材・作り方等	段ボール箱、紙皿、スポンジ、タオル地、綿、フェルト、正方形 の箱、色画用紙、ラミネートフィルム、色ガムテープ
使ってみて (効果・反省等)	児童の障がいの状況等が様々であり、型穴をあける数や、入れる ピースの選択肢を児童に合わせて調整した。



教科・領域	かず・ことば
名称	4までの数の理解
写真 使用方法	か芽をかぞえて、シールをはりましょう。         ●
対象児童生徒	小学部C低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	具体物の数だけシールを〇に貼る。 2までのかず、3までのかずの理解と段階的に進めた。
使ってみて (効果・反省等)	1と2の違いを理解するのに多くの時間を要したが、そこの理解 が深まると3までのかずはスムーズに理解できた。具体物と〇に 貼るシールのかずが同じであると繰り返し学習した。語彙を増や すために、具体物の名前を発声させた。



教科・領域	かず・ことば
名称	数字の練習
写真 使用方法	$3 \underset{z_{k}}{\overset{z_{k}}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}{\overset{z_{k}}}{\overset{z_{k}}{\overset{z}}}}{\overset{z_{k}}}{\overset{z_{k}}}{\overset{z_{k}}}{\overset{z}$
	333
	3 3 3
対象児童生徒	小学部C低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	数字の練習のためのプリント。 1から順に進めた。1人で書くことが難しい児童を対象にしたた め、なぞりの形態にした。
使ってみて (効果・反省等)	線のなぞりの練習をくり返し行い、丁寧にできるようになってか ら数字の1の練習を始めた。毎日、必ず様々な種類のプリントを 使って書字学習を行っており、そのうちの1種類である。挿絵の 単語を発声することで、語彙を豊かにすることもねらいである。



教科・領域	算数(小学部2段階)
名称	〇×問題 ①ものの数と数字のマッチング ②色や形の弁別
写真 使用方法	<ul> <li>「まるはどれかな?」</li> <li>「すべき」」</li> <li>「すべき」」&lt;</li></ul>
対象児童生徒	小学部C低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	iPad アプリ『どーれかな?(〇×問題版)』で作成
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>【効果】</li> <li>iPad を使用することにより、児童自身が主体的に学習を 進めていくことができた。</li> <li>1回5問をひとくくりとして設定したことにより、集中し て取り組むことができた。</li> <li>間違った場合は、同じ問題を繰り返しできるよう設定でき るので、学習の定着に繋がった。</li> <li>全問正解すると "がんばったね!"と画面上で評価される ので最後まで意欲的に取り組むことができた。</li> <li>【反省】</li> <li>複数人を対象とした授業の中での活用には至らなかった。</li> <li>ものの数を指さしで数える段階の児童が使用する場合、意 図せず画面に触れてしまうことがあり、iPad の操作に関 する指導が必要な場面があった。</li> </ul>



教科・領域	算数(小学部2段階)
名称	仲間探し ①ものの数と数字のマッチング ②色や形の弁別
写真 使用方法	<ul> <li>・ 授業で実際に使用した教材を画像にして利用し、児童の実態 に合わせ段階別に問題を作成した。</li> <li>・ 学習の定着をめざし、個別学習で活用した。</li> </ul>
対象児童生徒	小学部C低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	iPad アプリ『どーれかな?(仲間探し版)』で作成
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>【効果】</li> <li>iPad を使用することにより、児童自身が主体的に学習を進めていくことができた。</li> <li>1回5問をひとくくりとして設定したことにより、集中して取り組むことができた。</li> <li>間違った場合は、同じ問題を繰り返しできるよう設定できるので、学習の定着に繋がった。</li> <li>全問正解すると "がんばったね!"と画面上で評価されるので最後まで意欲的に取り組むことができた。</li> <li>そ間正解すると した授業の中での活用には至らなかった。</li> <li>ものの数を指さしで数える段階の児童が使用する場合、意図せず画面に触れてしまうことがあり、iPadの操作に関する指導が必要な場面があった。</li> <li>〇×問題とは異なり、一個選択しただけでは次の問題に進めないため、児童によっては集中力が持続しない場面があり、問題の理解力への対応が必要であった。</li> </ul>



教科・領域	音楽(小学部1段階)
名称	iPad を使った楽器演奏
写真 使用方法	
	*iPad アプリ『GarageBand』を使用。 • 音色: ドラム、キーボード(グロッケン) • アクセスガイドで誤動作防止をしておくとよい。
	<ul> <li>*楽曲『ちゃちゃちゃは すばらしい』 (東京書籍「おんがく☆☆」)</li> <li>① 1~4小節(繰り返しあり): 歌う(歌詞は活動に合うものに変更)</li> <li>② 5~8小節: 楽器を鳴らす(歌なし)</li> <li>③ 8小節程度:交代(歌なし) 準備ができたら前奏・①に戻る。</li> </ul>
対象児童生徒	小学部第3,4学年(小学部1段階の児童)
素材・作り方等	<ul> <li>iPad は立てて使い、児童の手の動きに合わせられるようにした。</li> <li>楽曲を取組みに合わせてアレンジした。         <ol> <li>曲の中で「歌の後に演奏する」パターンを決め、音を出すところを意識できるようにした。</li> <li>演奏することがメインのため、歌詞を変えた。</li> <li>自分の音を聴くことをねらいとし、一人ずつ順に演奏できるような伴奏にした。</li> </ol> </li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>画面にふれることで音を奏でることができるため、児童の動きを生かしやすかった。また、指導者の支援が少なく、児童が「自分でできた」という達成感を得られる活動ができた。</li> <li>上記の音色以外に、ピアノやバイオリン、ギターなど、いろいろな音を鳴らしてみる時間を設定した。その中で、児童の表情や手の動きなどを見て、それぞれの好きな音色をみつけることができた。</li> <li>※ 2段階、3段階の児童にはリズム打ちをするなど、応用できる。</li> </ul>



教科・領域	音楽(小学部1段階、小学部2段階、小学部3段階)
名称	手あそび動画(どんぐりころころ)
写真 使用方法	<ul> <li>「どんぐりころころ」の動画を作成し、授業で活用した。</li> <li>手遊びの見本を提示する際、大型TVに動画を映した。</li> <li>【作成時の工夫点】</li> <li>ひらがなが読める、また興味を持ちだしている児童に向け、 歌詞をひらがなで提示した。</li> <li>歌詞や手の動きのイメージがつきやすいように、歌詞に合っ たイラストも同時に流れるようにした。</li> </ul>
対象児童生徒	小学部第1, 2学年
素材・作り方等	iPad アプリ『CapCut』 指導者が手遊びをする動画を撮影する。『CapCut』のアプリ内に 取り込み、歌詞やイラストを挿入する。
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>見本を動画で提示したことで、児童の手をとり一緒に手あそびできる指導者が増えた。1段階の児童の指導がしやすくなった。</li> <li>身近な存在の指導者が動画に出ているため、動画に注目する児童が多かった。</li> <li>どんぐりが泣いているイラストに気づき、「ないては」の部分だけ「泣き顔」をして手を動かすようになった児童がいた(他は笑顔)。</li> <li>情報量が多いため、どこを見てよいか分かりにくいという課題がある。動きのみ、歌詞とイラストのみの動画等、複数の種類を作って使い分けることで課題解決につながると考える。</li> </ul>



図画工作

教科・領域	ふれるえがく(図画工作) 学年活動(特別活動)
名称	消しゴムはんこ
写真 使用方法	F かくしても活用することができた。     S かいできた。     S かいできた。     S かいでもた。     S かいのもの     S かいでもに     S かいのもの     S かいのもの     S かいのもの     S かいのもの     S かいのもの     S かいのもの     S かいの     S かい
対象児童生徒	小学部AB高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	消しゴムに写し絵の紙で柄をつけてデザインナイフで彫る。
使ってみて (効果・反省等)	子どもが握りやすいよう、彫ったものに紙粘土で持ち手を作って くっつける。



図画工作

教科・領域	ふれるえがく(小学部1段階)
名称	感触遊び
	シリコン素材を見つけてつまみ出す。
写 <u>真</u> 使用方法	<image/> <image/>
対象児童生徒	小学部AB低グループ(小学部第1~3学年)
素材・作り方等	<ul> <li>・ 寒天、食紅、シリコンゴムの金魚</li> <li>・ シュガークラフトパウダー など感触素材</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>寒天の中のシリコンゴムは感触の違いに気づきやすく自ら 違いに気づいて指先でつまむことができた。</li> <li>紙粘土を使った作品作りでは、指でつまむ、てのひらで転が すなど様々な手の使い方ができた。</li> </ul>



	送益
名称	SST事例集
写真 使用方法	$\begin{bmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 &$
対象児童生徒	小学部C高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	・iPad ・事例ごとのおおまかな台本 ・iPad アプリ『Keynote』、『iMovie』、『ボイスメモ』 児童の実態から、気づいてほしいことの事例を考えて台本を作成 し、動画を撮影する。
使ってみて (効果・反省等)	道徳の時間だけでなく、社会体験の事前学習にも活用することが できた。児童の実態は様々であったが、2択の選択肢の中から正 しいと思う方を1つ選ぶように作ったので、2択なら選びやす く、どの児童もよく考えて選ぶことができ、感想や気づいたこと を言うことができた。



外国語活動

教科・領域	外国語活動
名称	外国語活動
写真 使用方法	がいこく ごかつどう③ いんぐりっしゅ English
	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$
	$\begin{tabular}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$
	最初に始まりの歌として「Hello Song」、続いて「ABC Song」、最 後に終わりの歌として「Goodbye Song」を取り入れている。 簡単な英語での挨拶や表現、アルファベット等を楽しくリズムに 乗って体を動かしながら歌うことで学習の積み重ねを行ってい る。 ことばだけでは理解が難しいため、イラストを多く提示しなが ら、英語とひらがなを併記し、色わけして見やすくすること、音 声を活用することで、身近な学習と捉えられるように工夫してい る。
対象児童生徒	小学部C高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	基本となる学習事項をまとめたうえで、インターネットやCDな どから取り込んだ画像や動画等を編集したものを素材として活 用し、『PowerPoint』の機能を使って動きのある教材に編集した。
使ってみて (効果・反省等)	簡単な英語の歌を踊りながら歌うことにより、よく使う英単語を 歌で覚え、構えず英語を話すことができる児童がいた。児童の理 解できる範囲を想定したうえで、興味関心のあるツールを活用す ることで、児童生徒が楽しい雰囲気のなか、外国語に触れること ができた。



特別活動

教科・領域	学年活動
名称	お楽しみすごろく
写真 使用方法	<ol> <li>児童にわかりやすいよう顔写真などを駒として準備する。</li> <li>順番を決める</li> <li>ルーレットを回して止まった場所に書いてあることができる。</li> <li>児童がどの指導者とペアになるか悩んだ場合、先生ルーレットが使用できる。</li> <li>デビジェアングラング・クロング・クロング・クロング・クロング・クロング・クロング・クロング・クロ</li></ol>
対象児童生徒	小学部第5学年
素材・作り方等	<ul> <li>すごろくの内容は対象児童生徒が好んで取り組みやすいものにしており、模造紙に文やイラストを見やすいよう配置して貼り付けている。</li> <li>ルーレットは Web アプリを使用し、タブを2つ開いておくことで同時に2つのルーレットを使用できるようにしている。</li> <li>児童の手元でルーレット操作をできるよう、タブレット端末にルーレットを入れておき、かつ、みんなで見ることができるように電子黒板にミラーリングするようにした。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>すごろくの数字を初めは1~3にしていたが、授業時間の関係で途中数を増やすなどして臨機応変に対応した。ルーレットの内容は簡単に変更することができるため児童の様子を見て調整しやすかった。</li> <li>ルーレットの操作についてCグループの児童は一人で行えたが、ABグループの児童にはタッチの具合で操作が難しかったため、児童の実態に合わせてスイッチ機器などと繋いだ方がやりやすい場合もあった。</li> <li>どの指導者と行うのか(ペアになるのか)、ルーレットも使用できるようにしたことで、普段関わりの少ない児童と指導者が楽しく関わるきっかけづくりにもなった。</li> </ul>



自立活動

教科・領域	からだ(自立活動)
名称	手洗い
写真 使用方法	「「」」です。     「」です。 「」です。 「」です。 「」です。 
	説明後に実際の手洗い練習場面で手の甲や平など、児童によっ て市販の手洗い練習スタンプを押す場所を決め、練習を行った。 洗う時や流水で流す時にみんなで 15 秒数えて取り組んだ。そ の後、みんなに手を見せ確認をしながら取組んだ。
対象児童生徒	小学部C低、C高グループ(小学部第1~6学年)
素材・作り方等	手洗い練習スタンプ(市販品)
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>         ・普段手洗いの時に、手を濡らして、泡をつけることはできるが、</li> <li>         手をこすらずにすぐに流してしまう児童や水が冷たく洗いたがらない児童などに、まずは電子黒板を使って、手洗いの大切さの</li> <li>         話をした。         <ul> <li>その後、実際の手洗い練習場面で手洗い練習スタンプを押すと、しっかりと手をこすり消そうと取り組めた。</li> </ul> </li> </ul>



教科・領域	自立活動
名称	どうしたらいいのかな
写真 使用方法	
	児童のなじみのある人形を主人公とする、身近なことについての 動画を視聴し、自分たちの行動を振り返り、注意すべき点に気付 く。
対象児童生徒	小学部C高グループ(小学部第4~6学年)
素材・作り方等	・iPad ・動画編集アプリ『iMovie』 ・録音アプリ『ボイスメモ』 ・人形、人形用小道具
	動画を無音声で撮り、ボイスメモで録音した音声を画像に入れ込 み作成する。人形の声には知らない子どもの声が良いと判断し、 教員の家族の声を録音して使用した。
使ってみて (効果・反省等)	ベッド周りを片付けていない児童が多かったため作成した。プ ライベートのベッドの様子は撮影できないので、児童がよく遊ん でいる人形と、人形用のベッドやパジャマ等の小道具を使用して 撮影した。 どこがよくないか、どうしたらよいのかを気づけるようにした が、視聴後すぐに自分たちのことを振り返り、気をつけようと意 識することができた。その後は、毎日がきれいな状態とはいかな
	いものの、「今日は片付けられなかってん」等、意識している様  子は見られている。



国語

教科・領域	国語(小学部2段階)
名称	ひらがな・カタカナ イラスト入り取り札かるた
写真 使用方法	iPad アプリ『Keynote』に表示させた読み札を読み、生徒が札を とり終わると正解がわかるようアニメーションでひらがな・カタ カナ・取り札が表示される。
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	
使ってみて (効果・反省等)	正解を自分で確認できていた。 『Keynote』のアニメーションに効果音を入れることで、答えが 映し出されたことがわかり、授業にメリハリがついた。 かるたの文言・カードともに生徒が授業で作成したため、親しみ があり意欲につながった。 市販のイラスト入りの取り札では簡単すぎる生徒が出てきたた め作成した。



教科・領域	国語(小学部3段階)
名称	聞き取りテスト
写真 使用方法	空白のテストアガウントを切り超える ・ ペラの気気ですマガウントを切り超える ・ ペラの気気ですマガウントを切り超える ・ ペラの気気ですマガウントを切り超える 
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1, 2学年)
素材・作り方等	『Googleフォーム』で問題文を作成する。 作成したフォームのリンクを圧縮し、『Google Classroom』に添 付する。
使ってみて (効果・反省等)	濁音や半濁音を意識して文字を読むことができるようになった。 ワンタップで選択することができるため、一人ひとりが自分自身 で取り組むことができるようになった。一方、タップする画面が 小さいことで、タップがしづらいケースがあるため、拡大した状 態にするなどの工夫が必要である。



教科・領域	国語(小学部3段階)
名称	ならび
写真 使用方法	しゃしん ただ じゅんぱん         写真を正しい順番にならべましょう         ①       ②         ①       ③         ③       ③         ③       ③         ③       ④         ③       ⑤         ③       ⑤         ③       ⑤         ④       ⑤         ④       ⑤         ⑤       ⑥         ⑤       ⑥         ⑤       ⑥         ⑤       ⑧         ⑤       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ⑧         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○       ○         ○
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1, 2学年)
素材・作り方等	『Google ドライブ』に使用したい教材を用いてワークシートを 作成する。 編集できる状態で、『Google Classroom』に添付する。
使ってみて (効果・反省等)	編集できる状態で写真の並び替えを行ったため、他の文字を編集 することなどがあった。 全員の画面を共有し、見える状態にしたことにより、困ったとき に他の人の意見を参考にすることができた。 写真の並び替えだけでなく、文章の並び替えやほかの活用方法も あるのではないかと感じた。



教科・領域	国語(小学部3段階)
名称	お気に入りの本を紹介しよう
写真 使用方法	学校図書館を利用し、好きな本を借りる。 一人一台端末の iPad アプリ『Keynote』を用いて、自分のお気に 入りの本を紹介するスライドを作成する。 スライドを電子黒板に映し、みんなに向けて発表を行う。
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1, 2学年)
素材・作り方等	<ul> <li>『Keynote』内の編集機能を用いてタイトル、お気に入りの理由などをまとめる。</li> <li>文字の大きさフォント、写真の配置など工夫して作成することが可能。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>何度も繰り返し使用する中で、『Keynote』の操作にも慣れ、 スムーズにスライドを作成することができた。</li> <li>写真を撮る作業など意欲的に取り組んでいる姿が見られた。</li> <li>好きな場面、理由など自分の意見を、文字化することで落ち 着いて発表することができた。</li> </ul>



教科・領域	国語(小学部3段階)
名称	選択クイズ
写真 使用方法	『していいのです。1000000000000000000000000000000000000
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1, 2学年)
素材・作り方等	『PowerPoint』を用いて、問題文と選択肢を作成する。 問題文の隠しておきたい(問題にしたい)語彙の部分にアニメー ションをつけ、四角の部分をタッチ操作後に文字が出てくるよう に設定する。 一定の場所をタッチすることで、アニメーションが出てくるよう な設定とするために、隠したい文字の下には挿入から四角の図形 を選択し、配置している。色がついていると文字が見えにくくな るため、透明化している。
使ってみて (効果・反省等)	クイズ感覚で積極的に参加することができる生徒が多かった。 どの問題を解いているのか確認できていないことがあった。 1ページ1問にし、選択肢(回答)のみ複数にすると、今、何を 尋ねられているのか明確になるのではないかと感じた。



教科・領域	数学(小学部2段階)
名称	プレゼンテーションアプリと電子黒板との連動とタッチパネル の利用
写真 使用方法	第4日間時を田舎し、佐谷が解答を専る里板に有いますることで、
	選択向題を用意し、主徒が解答を電子無板にダッチすることで、 正誤の判定のリアクションが起こる。 リアクションは、O×だけでなく、タッチしたパネルが回転する、 イラストが浮かびあがるなど様々なパターンを用意する。
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	・プレゼンテーションアプリ ・電子黒板 ・パソコン
使ってみて (効果・反省等)	解答するときに起こるリアクションで大きな正解音や誤答音、そ れらに対するイラストなど、即座にかえってくるので、生徒が飽 きることなく、集中して授業に取り組む姿勢がみられた。 また、解答する生徒の発表を全員で見ることができ、待ち時間な く授業に取り組めた。振り返りも全員で平易にできるので、誤答 の場合も、全員で再確認することができた。 電子黒板の高さにより、背の低い生徒や腕に麻痺がある生徒が解 答時にタッチしづらい状況になることがあった。(上の)写真に あるように、そのことに気づいてからは、解答する部分を下げて 統一するなど工夫した。



教科・領域	数学(小学部2段階)
名称	図形とビジョントレーニング
写真 使用方法	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	・iPad ・電子黒板 ・ビジョントレーニング(線なぞり)
使ってみて (効果・反省等)	図形を描くときに、角の部分を丸く書いてしまう生徒や、まっす ぐ線を引くことができなかった生徒が多かったが、ビジョントレ ーニングを取り入れたことで、角をつけることができるようにな った。また、線を引くときに集中するようになり、まっすぐな線 を引こうとする意識が見られるようになった。 描いた図形を電子黒板に映し出し、みんなの前で評価すること で、うまくいったところを全員でほめることができ、がんばろう とする意識が高まった。 取り組みを始めた頃は iPad のホームボタンが気になって触り、 なぞり線を最初からやり直さないといけなくなることや、他の機 能(消しゴムやマーカーペン機能)が気になっていじってしまい、 スタートできないことがあった。 しかし、続けることで、他の機能を触らないようになり、集中力 が増し、図形を書くときに、角をしっかりつけることができるよ うになった。



教科・領域	数学(小学部2段階)
名称	『Kahoot!!』
写真 使用方法	<ul> <li>「Kahoot!!」を入れ込み準備。生徒は手元に iPad を用意、 「Kahoot!!」で作った問題をスタートすると、QR コードが表示 される。QR コードをそれぞれの iPad で読み込むと、参加できる。 好きなアイコンを選び、名前入れてスタートする。電子黒板に出 る問題を見て、手元の iPad に表示される解答(事前に選択肢を 用意)を選択する。</li> <li>全員が解答すると、正解者と、正解スピードで点数が変わり、全 問題終了後、表彰画面が表示される。</li> </ul>
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	『Kahoot!!』のサイトで事前に問題や写真、解答の選択肢(2択 ~好きに設定)を用意する。 授業で、サイト内で作った問題を表示し、生徒それぞれが iPad で QR コードを読み取る。
使ってみて (効果・反省等)	正解・不正解、正解者の数、正解に至ったスピードが一目でわ かり、ゲーム性があるため、生徒は正解しようという意欲が非 常に高まった。 集中力が継続しづらい生徒も楽しんで取り組むことができ、1 位をめざして力を尽くして考える様子が見られた。 使い始めの頃は、何をするのか、どうなるのかがわかりにく く、生徒が誤答する場面が多かった。また、生徒の反応も芳し くなかった。3回めの頃から、どういうものなのかを理解し、 楽しみながら積極的に取り組むことができるようになった。



教科・領域	音楽(小学部3段階、中学部1段階)
名称	デジタル(映像)楽譜を見て打楽器を演奏しよう ~ポチポチ版ドラムへの第一歩~
写真 使用方法	映像楽譜を大型モニタ等に映し出し、映像(音)の動きに合わせ て打楽器を演奏する。 ①PAN!DA! $( ( f \otimes $
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	画像(『PowerPoint』で作成)と音源を用意し、動画編集ソフト で作成。
使ってみて (効果・反省等)	【効果】 映像楽譜の見方を覚えると、モニタをしっかり見ながら演奏 できていた。 【反省】 曲の早さや長さを、"ゆっくり&短い"から"早い&長い" と いうようにステップアップしていく映像楽譜を作成してい れば、スモールステップでより早く上達できたように思う。



教科・領域	音楽(小学部1段階、小学部2段階)
名称	〇×クイズ ~音当て~
写真 使用方法	
対象児童生徒	中学部DEグループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	Microsoft PowerPoint で作成
使ってみて (効果・反省等)	【効果】 効果音を組み合わせることで、視覚だけでなく聴覚からも即 時的に結果が返ってくるため、生徒は期待感や臨場感をもっ て取り組んでいた。 【反省】 電子黒板の反応が鈍いことや、生徒の動きの特性によっては 反応しなかったり、想定外の動作を起こしたりすることがあ った。生徒の動きに合わせて、指導者が操作する等の対応を した。



教科・領域	美術(小学部3段階、中学部1段階)
名称	アプリを利用した作品制作 ① キャラクターデザイン『らくがきAR』 ② 自画像『にがおえやさん』 ③ ③光のアート『夜撮カメラ4』
写真 使用方法	<ul> <li>① キャラクターデザイン(iPad アプリ『らくがきARJ) キャラクター制作→アプリで撮影→作品展で映像展示→キャラクター グッズ(バッチ、シール、キーホルダー)作成→販売実習</li> <li>● 節いに、キーホルダー)作成→販売実習</li> <li>● 節いに、キーホルダー)作成→販売実習</li> <li>自分で描いたイラストを動か して撮影できるアプリ。デザ インの先の展開を簡単にかつ 楽しく体験できる。</li> <li>② 自画像(iPad アプリ『にがおえやさん』) 描画・観察が難しい場合、「自分を見つめる」という目的を変えること なく楽しんで自画像に取り組める。</li> <li>● 節いいのものを見つめる」という目的を変えること なく楽しんで自画像に取り組める。</li> <li>■ 節いのたのを見つめる」という目的を変えること なく楽しんできる。</li> <li>● 「「」」</li> <li>● 「「」」</li> <li>● 「「」」</li> <li>● 「」」</li> <li>● 「」」</li> <li>● 「」</li> <li>● 「」」</li> <li>● 「」」</li> <li>● 「」</li> <li>● 「」</li> <li>● 「」」</li> <li>● 「」</li> <li>● ● ● ●</li></ul>
対象児童生徒	中学部 F G グループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	各課題による
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>アプリを使用すること、アプリでの作品を作ることを目的と するより、何かの課題・目標の一過程として利用すると単発 な課題にならずよい。</li> <li>ハロウィンパーティや卒業のお祝い、販売学習などの総合的 な学習の時間や特別活動を美術と関連づけた。美術と生活を 関連づけて取り組むことにより達成感を高めることができ るとともに、美術のあり方を探求することができた。</li> </ul>



保健体育

\_

教科・領域	保健体育(小学部3段階、中学部1段階)
名称	体力向上運動(ウォーキング・ダンス体操)
写真 使用方法	<image/>
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	<ul> <li>・一人一台端末(iPad) ・アプリ『YouTube キッズ』</li> <li>・三角コーン ・電子黒板 ・スピーカー ・教師用 iPad</li> <li>iPad を使い好きな曲やダンスや体操の動画を一人ひとりが検索する。</li> <li>教師用 iPad 内のメモに、生徒一人ひとりが選んだ曲やダンスや体操を写真で保管する。</li> <li>Web ルーレット『piliapp.com』を作成し選ばせる。</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>自分自身で選んだ物が電子黒板に映し出されると楽しさも 倍増した感じで、楽しそうにウォーキングやダンスや体操を する姿が見られた。</li> <li>ウォーキングの曲に関しては、歩くテンポと走るテンポの選 曲が難しかったようだが、楽しく体を動かすことを優先して 取り組んだ。</li> </ul>



保健体育

\_

教科・領域	保健体育(小学部3段階、中学部1段階)
名称	体力向上運動(コーンタッチ)
	2グループに分かれて、フープからスタートしジグザグに進んで コーンにタッチする。 フープに戻るとゴールとなる。活動しているところを教師用 iPad で撮影し、全員で動画を観ながら振り返る。
写真 使用方法	
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1~3学年)
	・教師用 iPad ・電子黒板 ・スピーカー ・一人一台端末(iPad) ・ルーレット
素材・作り方等	iPad を使い好きな曲を一人ひとりが検索する。 教師用 iPad 内のメモに、個々が選んだ曲を写真で保管する。 活動中の曲は、ルーレット(Web アプリ『piliapp.com』)で選ば せる。
使ってみて (効果・反省等)	コーンタッチの動きを iPad で撮影し、全員で動画を見ることで、 競争心が生まれた。また、片手だけでタッチしていた生徒が両手 を使って左右のタッチをすることができるようになる等、振り返 りの学習として活用できた。 練習中の曲に関しては、走るテンポの選曲が難しかったようだ が、楽しく体を動かすことを優先して取り組んだ。



- 保健体育

教科・領域	保健体育(小学部3段階、中学部1段階)
名称	フライングディスク
写真 使用方法	
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	・得点シート ・フライングディスク ・三角コーン ・電子黒板 ・スピーカー ・スコアボード(工具邦 スコアボード 『piliapp.com』)
	iPadを使い好きな曲を一人ひとりが検索する。 教師用 iPad 内のメモに、個々が選んだ曲を写真で保管する。 活動中の曲は、ルーレット(Web アプリ『piliapp.com))で選ば せる。
使ってみて (効果・反省等)	ブルーシートに貼られた数字が得点となるゲーム。 大きい数字を狙ってディスクを投げる。iPad と電子黒板をミラ ーリングし点数表を電子黒板にリアルタイムで映し出すことに より、接戦になった場合には、楽しさが倍増したようで楽しそう にゲームをする姿が見られた。スコアボード数字の上には、チー ムで考えたユニークなチーム名も表記することができるのでや る気を引き出すことができた。フライングディスクを投げる姿を iPad で撮影し、全員で動画を見ることで、振り返りの学習に活 用できた。中庭や屋外 (屋上) で行うと太陽の加減で電子黒板の 画面が見にくくなることがあったので工夫が必要である。



自立活動

教科・領域	課題活動(自立活動)
名称	『DonDonIkoo』用ジョイスティック・カバー
写真 使用方法	電動移動遊具 『DonDonIkoo』(ドンドンイコー) スイッチやレバーを用いて操作することで、自分の進みたい方 向に進むことができる。
	『DonDonIkoo』用ジョイスティック・カバー 少しの力で操作を可能にするために段ボールで作成した、本体 付属のジョイスティックに取り付けるカバー。
対象児童生徒	中学部第1学年
素材・作り方等	素材: 段ボール、柔らかいボール
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>『DonDonIkoo』本体のレバーよりも大きく、操作がしやすくなっていた。</li> </ul>
	<ul> <li>前だけでなく、左右にも動かすことができていた。</li> </ul>
	<ul> <li>手の当たる部分、持つ部分を滑りにくい素材にすることでさらに操作しやすくなるのではないかと感じた。</li> </ul>



総合(進路)





教科・領域	道徳
名称	自分を知ろう(全8~10回程度)
写真 使用方法	①中学生時代②あいさつをしよう③ことばでつたえよう④じぶんのきもち1⑤じぶんのきもち2⑥こころキャラ図鑑⑦いかりとのおつきあい
対象児童生徒	中学部FGグループ(中学部第1~3学年)
素材・作り方等	パワーポイント7種 絵カード プリント
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>少し難しい内容があるため、調整が必要である。</li> <li>データが重いので『Keynote』への移行を考える。</li> <li>絵カード、プリントなどのアナログ教材や『Kahoot!!』等の デジタル教材との併用も考えられる。</li> <li>刀根山支援学校・羽曳野支援学校が共同で作成する「わにな るシート」の中学部版も考えていける可能性がある。</li> </ul>



🔵 国語





教科・領域	国語(DE: 小学部1段階、F: 小学部3段階)
名称	「SDGs 17の目標」一覧表作り
写真 使用方法	<ul> <li>動画: NHK for School『SDGs をいっしょに学ぼう!』         <ul> <li>『SDGs のうた 17 の目標』を視聴する。</li> <li>(F グループ)</li> <li>A4 用紙に目標 1~17 をなぞり書きする。</li> <li>(D E グループ)</li> <li>17 色の折り紙をちぎる。</li> <li>画用紙にちぎった折り紙をのりで貼った後、上からテープを貼る。(折り紙の落下を防ぐため。)</li> </ul> </li> <li>(F グループ)</li> <li>それぞれの目標のロゴを貼る</li> </ul>
	<ul> <li>・ 画用紙をつなげ て一覧表を作 る。</li> <li>SDGs170</li> </ul>
対象児童生徒	DEグループ(小学部1段階の生徒) Fグループ(小学部3段階の生徒)
素材・作り方等	<ul> <li>動画:NHK for School『SDGs をいっしょに学ぼう!』</li> <li>「SDGs 17の目標」のなぞり書き用紙とロゴ(印刷物)</li> <li>折り紙 17 色(両面タイプ)・画用紙・のり・テープ</li> </ul>
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>SDGsの目標1~17について、1学期に動画を見て音読練習、 2学期に書く活動を行い、見通しをもって取り組むことがで きた。</li> <li>17色の折り紙をちぎることで、いろいろな色に触れることが できた。</li> <li>目標1~17をすべて一覧にし、廊下に貼ることによって、日 常的に見て、生徒がさらに興味を持つことができた。</li> </ul>



教科・領域	数学(算数 小学部3段階)
名称	<ul> <li>・ 動画アプリ</li> <li>・ プリント学習</li> <li>・ 電子黒板</li> </ul>
写百	
使用方法	
	電子黒板の『ノート機能』で数子を手書さ入力する。Text 変換機 能を利用し、数字として認識・変換するか確認する。
対象児童生徒	高等部Fグループ(高等部第1~3学年) ※ 数・数字を文字で表現することが難しい生徒で構成されているグ ループ
素材・作り方等	動画アプリの「数字の学習」動画 数字の書きプリント 電子黒板に装備されている『ノート機能』
使ってみて (効果・反省等)	ICT 機器を活用して、数字の形を覚え、1~12までの数字が書けるようになることを目標に掲げた。 まず、動画アプリの「数字の学習」動画を利用した。「3は、赤ちゃんのお耳」「4は、ヨットの4」など、目と耳の情報から、絵(ビジュアル)を思い浮かべて、数字の形を覚えることができた。 並行してプリントを使用し、なぞり書きや見本を見ながら数字を書いていくことで、数字の形を覚え、書くことができるようになっていった。 最終的な確認のために、電子黒板の『ノート機能』を利用した。自分たちでも興味深く操作でき、Text変換で、自分の書いた数字が、数字として正しく認識・変換されると嬉しくなり、毎回意欲的に取り組むことができ、書けるようになってきた。 今回使用したICTの素材だけでは、書けるようになることは難しい。 並行してプリントを使用し、実際に自分自身で書いていくことで、数字の形を覚え、書くことができるようになったと考える。



教科・領域	社会(中学部1段階)
名称	電子黒板での『Google Jamboard』の活用
写真 使用方法	Image: Comparison of Compa
対象児童生徒	高等部 F グループ(高等部第1, 2学年)
素材・作り方等	Google の無料アプリで、Google アカウントでログインすれば、 誰でも使用できる。
使ってみて (効果・反省等)	イラストの移動に失敗することがなく、生徒が電子黒板の機能を 有効に活用できる。電子黒板でログインした後は、必ずアカウン トの削除を行うことが重要である。



教科・領域	音楽(中学部1段階)
名称	映像楽譜生成サービス『TJA Generator』
写真 使用方法	
対象児童生徒	高等部FGグループ(高等部第1~3学年)
素材・作り方等	<ol> <li>         ・         ・         ・</li></ol>
使ってみて (効果・反省等)	高等部FGグループの音楽の授業で使用したところ、好評で「もっとやりたい」という声が多く聞かれた。無線ミラーリングをすると音が微妙に遅れるために、大画面に映しながらの演奏はしづらかった。少人数だったのでタブレットの画面を皆でのぞきこんで行ったが、より大人数でやる場合には有線でミラーリングする必要がある。



教科・領域	音楽(中学部1段階)
名称	『GarageBand』でのボーカル・レコーディングおよび歌唱テス ト
写真 使用方法	
対象児童生徒	高等部FGグループ(高等部第1~3学年)
素材・作り方等	<ol> <li>iPad アプリ『GarageBand』を使用してボーカルのレコーディ ングを行う。ヘッドホンを接続しながら歌うことで音源を聞 きながらボーカルのみを録音する。</li> <li>トラックを増やすことで気に入るまで何度でも録音するこ とができる。</li> <li>生徒たちの GIGA iPad に録音用の『GarageBand』ファイルを 配布することで自分一人でも録音できるようにした。</li> <li>アカペラ(無伴奏)のボーカルがレコーディングできるので 別途ピッチ修正ソフトなどで音程を修正したり音量を上げ たりすることもできる。</li> </ol>
使ってみて (効果・反省等)	<ol> <li>         ① 音楽の授業内でレコーディングを行ったところ、友達がレコ ーディングしている間は音が入ってしまわないように静か にしたり、真剣に友達の歌を聴き応援するという集団意識が 自然に醸成された。     </li> <li>         ② 本人たちの一番上手く歌えたテイクの録音を歌唱テストと して成績評価の対象とした。     </li> <li>         ③ ふだんの授業の歌唱テスト時よりも一人ひとりが真剣に歌 を歌うようになった。タブレットに向かって歌うことで人前 で歌う緊張感が少なくなり、声は大きくなった。レコーディ ングの為に休み時間などにも練習し自分で録音する生徒の 姿も見られた。     </li> <li>         ④ レコーディングはどの生徒も好きなようで「またレコーディ ングしたい」「もう一回録音していい?」という声も多く聞か れた。     </li> </ol>



教科・領域	美術(小学部1段階)
名称	iPad アプリ『キラキラお絵かき』を活用した ① カレンダー製作 ② クリアファイル製作
写真 使用方法	
対象児童生徒	高等部DEグループ(高等部第1~3学年)
素材・作り方等	<ol> <li>iPad アプリ『キラキラお絵かき』を使い、模様を思うように 描く。その後、カレンダーを添付する。</li> <li>iPad アプリ『キラキラお絵かき』を使い、模様を思うように 描く。その後ラミネートフィルムをアレンジしてラミネート し、完成させる。</li> </ol>
使ってみて (効果・反省等)	<ul> <li>画面にタッチしたり、手を動かしたりして容易に色とりどり の模様が描けるので対象を選ぶことなく、全ての生徒が取り 組むことができる。</li> <li>筆跡に沿って音が連動しているので興味を持ちやすいこと も利点である。</li> <li>一枚として同じ作品を作ることができないので、とてもオリ ジナリティーの高い作品を作ることができた。</li> <li>制作工程全てを生徒が主体となって作ることができた。</li> </ul>



教科・領域	職業(職業・家庭 中学部第1段階、第2段階)
名称	校内実習
写真 使用方法	<ハーバリウム・ボールペン> ボールペンの解体、花材・オイル注入、組立てなど工程ごとに動 画を作成した。
対象児童生徒	高等部FGグループ生徒(高等部第1~3学年) 小学部・中学部の児童生徒(軽作業体験時)
素材・作り方等	タブレット端末等で再生ができる動画ファイル
使ってみて (効果・反省等)	児童生徒が実際の作業の様子を見ることができるので、口頭での 説明よりもイメージを掴みやすくなったように思う。 また、作業工程を細かく分割しているので、わからなくなった際 も自分で該当する部分を探し、確認することができる点も良かっ た。



教科・領域	職業	
名称	プログラミング教室体験をしよう	
写真 使用方法	マウス操作と数字の入力だけでゲームを作成する。 リモートで他校の生徒と交流しながらゲームをプログラムする。	
対象児童生徒	高等部Gグループ	
素材・作り方等	プログラミングソフト『scratch』を使用する。	
使ってみて (効果・反省等)	ゲームをパソコンで作ることが難しいと言っていた生徒が、2時間で『scratch』を使って簡単なゲームを作りあげることができた。 またキャラクターを変更するなど生徒それぞれが自発的にアレンジすることができた。 自分で作成したゲームを体験して、喜びと達成感を感じることができた様子であった。創造的思考をはたらかせ、アイデアを発想する経験を積むことができた。 引き続き発想力を展開させる機会を設けていけるよう取り組んでいきたい。	



教科・領域	職業
名称	清掃「洗面所」
写真 使用方法	<image/>
対象児童生徒	高等部FGグループ(高等部第1~3学年)
素材・作り方等	清掃マニュアル 雑巾、バケツ、学習机、水、テレビ
使ってみて (効果・反省等)	清掃マニュアルを作成し確認しながら清掃を行う。 iPad で清掃に取り組む姿を撮影し、動画を見返し個々の振り返りを行うと、客観的に自分の作業の確認ができ改善が見られた。 雑巾の絞り方、干し方は、個々に応じて工夫や指導が必要であった。 小学部・中学部の段階で雑巾の絞り方や干し方、雑巾(タオル)のたたみ方等習得できていると望ましいと感じた。 清掃検定を行うまでに、個々の実態を踏まえ3か月~2年間程度の作業訓練を行うことにより、知識と技能が定着し検定試験を受けることができる。

## <参考資料: 『清掃資機材の使い方』、『洗面台の掃除の仕方』>

名称	特徴と主な用途	関連知識
ぞうきん	水拭き・から拭きなど清掃に欠かせない。二つ折りに	使用後は、よく洗い、店
	して使う。汚れた面で拭くときれいな所まで汚してし	げて乾燥させる。乾いた
	まうため、折り返してきれいな面を使うようにする。	ら一枚ずつたたんで重ね
	トイレと沈商台など使用する部位により色分けする。	て保管する。
スポンジ	洗面台にキズをつけないようやさしく水回りの汚れ	使用後は、よく洗い、7
	を落とすときに使用する。	分を取り除いて吃かして
		保管する。
ビニール手袋	手や指先にびったりフィットするので水が入りにく	使用後は、よく洗い、ス
	く、細かい作業もやりやすい。カビ取り法剤など強い	分を取り除いて成かして
	浅性の洗剤を使う時には、洗剤が子につくのをしっか り防いでくれる。	保管する。
洗剤	洗面台の洗面料は陶器や樹脂でできています。	保管場所は、トイレ掃除
	そこにつく汚れは、「水あか」、「石けんカス」、「体指	の洗剤と同じところ(3
	(人の休の指分)」などです。実はこれらの汚れは浴	まった場所)に保管する
	室(お風呂)につく汚れとほぼ同じなのです。	









教科・領域	家庭科「自分らしい生き方と家族」(中学部2段階)	
名称	自分のことクイズ	
	クイズ作成アプリ『Kahoot!!』を使用して「自分のことを知ろう」 という学習内容で、自分の得意なことや好きなこと等に関するク イズを作成して生徒同士でクイズ大会を実施した。	
写真 使用方法	・クイズ     ・クイズ     ・クイズ     ・クイズ     ・ク・ズ     ・ク・イズ     ・ク・ク・ア     ・ク・ク・ア     ・ク・ク・ア     ・ク・ク・ア     ・ク・ク・ア     ・ク・ク・ア     ・・・・・・・・・・	
対象児童生徒	高等部 G グループ(高等部第2,3学年)	
素材・作り方等	一人一台端末 iPad クイズ作成アプリ『Kahoot!!』を利用。	
使ってみて (効果・反省等)	クイズ内容を生徒に自由に設定させてみると、自分の好きな歌手 やゲーム等、趣味に関する内容に偏ってしまったので、「将来着 てみたい服は?」など衣食住に関するクイズを盛り込むように指 導した。 ゲームを自分たちで作成している感覚で、生徒は積極的に作業し ていた。 生徒の反応が良かったので、機会があれば学部活動の時間などを 利用して全員でクイズ大会を開催するのも良いと感じた。	



教科・領域	英語(中学部)	
名称	英語すごろく	
写真 使用方法	電子黒板と PC をつなぎ、電子黒板に、 PC で作成したすごろくを 映す。じゃんけん札を使ってじゃんけん。すごろくのコマは指導 者が PC で操作して動かす。人数が多い場合は2チームに分かれ て対戦する。すごろくで進む度にそこに書かれている英語のお題 に従う。 例: "Tell one English word of an animal." 等	
対象児童生徒	高等部第1~3学年	
素材・作り方等	すごろくの表(②)はパソコン『Word』で作成。じゃんけんをす ることが難しい生徒もいるため、じゃんけん札(①)をラミネー ト、紙、割り箸を使って作成。選んだじゃんけん札を挙げるよう にする。	
使ってみて (効果・反省等)	T-net(外国語(英語)講師派遣事業)の活動の時間に行った。 普通の紙のすごろくで行ったときは、目の前に物があると気が向 いて触ってしまう生徒がいた。電子黒板に映すことにより、集中 して行うことができた。 DEグループの生徒についても英語を聞き、番号札を選ぶ等、活 動に参加することができた。	



外国語

教科・領域	英語(中学部)	
名称	形と色	
写真 使用方法	circletrianglestardiamondsquareheart000SquareImage<	
対象児童生徒	高等部FGグループ(高等部第1~3学年)	
素材・作り方等	英語の教科書『Let's Go1』P.14~P.17のKey Word、色の名称 と形の名称をパソコン『PowerPoint』とラミネートしたカードで 作成。三択で選ぶ際の番号札も割りばしとラミネートした紙で作 成した。	
使ってみて (効果・反省等)	教科書のみで学習するより電子黒板で見る方が、より色や形が印 象に残る。また、クイズが好きな生徒が多いことから、クイズ形 式で練習することにより、授業により集中することができた。	



外国語

教科・領域	英語(中学部)	
名称	T-net(外国語(英語)講師派遣事業)クイズ	
写真 使用方法	T-net (外国語 (英語) 講師派遣事業) が前回の授業で話した内容について、『PowerPoint』でクイズを作る。答えは三択で選ばせる。①②③の番号札を用意。パソコンと電子黒板をつなぎ、電子黒板の画像を見ながら生徒たちがクイズに答える。         With Competition !         About Philippines         About Philippines	
対象児童生徒	高等部第1~3学年	
素材・作り方等	パソコン『PowerPoint』で作成。 授業では電子黒板とパソコンをつないで電子黒板で生徒たちに 見せる。番号札はラミネートと割りばしで作る。	
使ってみて (効果・反省等)	T-net(外国語(英語)講師派遣事業)では、ほとんど英語で説 明を行っているが、画像を電子黒板で見せながら説明を聞くこと により、話の内容を理解しやすくなる。また、クイズ形式で競わ せることにより、楽しみながら問題を解くことができる。	



教科・領域	朝の会(自立活動)	
名称	GIGA iPad を活用した、朝の会のデジタル化	
	<ul> <li>①使用したもの</li> <li>GIGA iPad (『DropTap』をイン ストール)</li> <li>Bluetooth マウス (ロック機能 付きが望ましい)</li> <li>スイッチ (生徒の実態に応じて 準備)</li> </ul>	
写真 使用方法	<ul> <li>②電子黒板にミラーリングされる様子</li> <li>GIGA iPad と電子黒板をホットスポットで接続する</li> <li>GIGA iPad の設定で、ポインタを大きくする。</li> </ul>	
	<ul> <li>・ 提示されたシンボルをスイッチ で操作すると、拡大表示され、授 業名が読み上げられる。</li> </ul>	
対象児童生徒	高等部DEグループ(高等部第1~3学年)	
素材・作り方等	<ol> <li>GIGA iPad で『DropTap』をインストールし、時間割を作成 する。</li> <li>Bluetooth マウスを接続する。</li> <li>電子黒板のホットスポット設定をし、接続する。</li> <li>シンボルの位置にカーソルを合わせて生徒に提示する。</li> </ol>	
使ってみて (効果・反省等)	Bluetooth マウスのポインタが少しの振動で指定するシンボル からずれるため、年度途中でロック機能付きの Bluetooth マウ スを作成した(今後活用予定)。	



教科・領域	自立活動	
名称	健康チェック	
		1 台分の学校情報ネットワーク iPad の使用教室を固定。iOS の計 算ソフト『Number』を利用。高等部 教員が利用しやすいように、ドッ クにアイコンをおく。
写真 使用方法	Non-Topological         Non-Topolo	きめ細やかな体調把握の必要な生 徒について、体温・血中酸素濃度・ 脈について、午前と午後の登校時 に記録する。
		記録した数値を、折れ線グラフ化 することで、生徒のバイタルの変 化を把握しやすくなる。
対象児童生徒	高等部DEグループ(高等部第2学年)	
素材・作り方等	iPad に標準装備されている 温」「SPO2」「PR(脈)」のそ 健康調べ時に記録していく	るアプリに、午前と午後にわけて「体 の月の日数分の枠を作成し、毎朝の 。
使ってみて (効果・反省等)	体調変化を把握するときに とができる。高等部教員の で管理できるため、情報流 に入力するための操作に慣 また、グラフ化のメリット ートウォッチが導入される る。	こ、入力した数値を簡単に振り返るこ 多くが利用するが、個人情報を iPad 出などの危険性が少ない。一方、iPad れないと、手間が増えると感じる。 を生かしきれなかった。今後、スマ らことで、利用方法の発展が期待され



自立活動

教科・領域	課題活動(自立活動)	
名称	『Piano flow』(Web アプリ)	
写真 使用方法		
	Web アプリ『Piano flow』のサイトをタブレットなどで表示する。 クラシックの曲が数十曲入っており、曲を選んで画面のどこかに 触れると楽譜に書かれた音符が鳴る。 リズムだけで演奏できるので自由にタップしてもカオス状態(混 乱した状態)になることはまずない。	
対象児童生徒	高等部DEグループ(高等部第3学年)	
素材・作り方等	<ol> <li>クッチパネルのあるタブレット等で『Piano flow』のサイト に接続する。</li> <li>曲を選んで画面にタッチする。</li> </ol>	
使ってみて (効果・反省等)	<ol> <li>一人で活動する時はタブレットでも良いが、大人数の授業の 場合は電子黒板を使っても良い。</li> <li>『GarageBand』を使った「誰でもできるブルース」よりも設 定が簡単であり、アプリのインストールの必要もない。</li> </ol>	



教科・領域	総合(学習発表会に向けた取組み)	
名称	ラッチ&タイマースイッチを活用した『PowerPoint』ページめ くり	
写真 使用方法		
対象児童生徒	高等部DEグループ(高等部第1~3学年)	
素材・作り方等	<ol> <li>中津まつり(学習発表会)において SDGs の 17 目標を説明す る『PowerPoint』を作成し、ページめくりをDEグループの 生徒5人で分担した。</li> <li>スイッチを接続できるように改造した Bluetooth マウスを iPad に接続してポインターを固定。スイッチを押すことでペ ージをめくれるようにした。</li> <li>押すことが得意な生徒には大型のビッグスイッチ、引っ張る ことが得意な生徒には紐を引くストリングススイッチ、他に 棒スイッチなどを生徒に合わせて使用した。</li> <li>連続して押してしまいページが何枚も進んでしまうことが 頻発したのでラッチ&amp;タイマースイッチをかませることで ー度ボタンを押したら 10 数秒間は反応しないようにした。</li> </ol>	
使ってみて (効果・反省等)	<ol> <li>スイッチを押すと画面が変わる経験を繰り返すことでスイ ッチによく手が伸びるようになった。</li> <li>中津まつり(学習発表会)本番でもスムースにページをめく り舞台で拍手を受けることができた。</li> </ol>	



特別活動

教科・領域	特別活動(修学旅行事後学習)
名称	修学旅行報告会
写真 使用方法	ホームルーム(特別活動)の時間に修学旅行報告会を行った際、 F G グループ生徒が iPad アプリ『Keynote』を利用して、修学旅 行の思い出を発表した。
対象児童生徒	高等部第2,3学年(FGグループ)
素材・作り方等	一人一台端末 ipad、『Keynote』 アプリ、修学旅行の写真を使用。 教員が事前に写真を数枚選んでおき、その中から発表に使用する 写真を生徒に選ばせた。
使ってみて (効果・反省等)	事前に発表用のベースを作っておくことで、スムーズに作業する ことができた。 今回は作成時間の関係で発表用ベースを教員が作成したが、「情 報」の授業を利用する等して、生徒が最初から全部プレゼン資料 を作成することも可能だと感じた。



教科・領域	保健体育、自立活動、特別化都度う
名称	パラパラ保健指導(めをたいせつに)
写真 使用方法	$\left  \begin{array}{c} \left  $
対象児童生徒	全校児童生徒
素材・作り方等	●素材: 色画用紙 ●作り方 YouTube で「パラパラカード」と検索すると制作方法が見つ かる。パラパラカードに、「目を大切にする習慣」のイラスト を貼り付ける。
使ってみて (効果・反省等)	掲示物を引っ張ることができる児童生徒は、パラパラと動く掲 示物に興味を示したようで、引っ張り終えた状態(隠れていたイ ラストが全て見えている)になっているのをよく見かけた。 引っ張り終えると元の状態に戻さなければ、再度引っ張れない ので、児童生徒が引っ張って楽しんでいることを確認できた。